

簿記 3 級仕訳問題 第 9 回

問. 次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	普通預金	売掛金	受取手形
未収入金	仮払金	立替金	有価証券	建物
支払手形	買掛金	仮受金	前受金	未払金
預り金	当座借越	資本金	売上	仕入
支払家賃	給料	租税公課	保険料	支払手数料
受取配当金	手形売却損	受取利息	有価証券利息	有価証券売却益

1. かねてから所有している讃岐株式会社の社債について、利払日が到来したため利札 ¥3,000 を取引銀行に持ち込みただちに当座預金としている。
2. 以前、商品の売上代金として神奈川商店より裏書譲渡された約束手形 ¥1,000,000 を、取引銀行に持ち込み割り引いた。利息相当額（年利率 7.3%、割引日数 60 日、1 年は 365 日で計算）を差し引かれた金額を当座預金としている。
3. 当店の取引銀行である東京スカイツリー銀行の普通預金口座から、同じく当店の取引銀行である京都タワー銀行の当座預金口座へ ¥2,000,000 を資金移動した。その際、振込手数料 ¥756 が東京スカイツリー銀行の口座より差し引かれている。なお、京都タワー銀行の当座借越が ¥250,000 あった。
4. 福岡商店より当期に仕入れた商品 500 個（仕入単価 @ ¥800）のうち、3 個が損傷していたので返品した。また、8 個が包装汚損で 1 個あたり @ ¥100 の値引きを受けている。それぞれ福岡商店に対する買掛金と相殺している。
5. 日商保険株式会社に対して、店舗の火災に備えて契約した火災保険料 ¥130,000、従業員負担の生命保険料 ¥10,000 および店主個人に対する生命保険料 ¥5,000 を普通預金口座より支払った。

簿記 3 級仕訳問題 第 9 回 答案用紙

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

簿記3級仕訳問題 第9回 解答・解説

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	当座預金	3,000	有価証券利息	3,000
2	当座預金 手形売却損	988,000 12,000	受取手形	1,000,000
3	当座預金 当座借越 支払手数料	1,750,000 250,000 756	普通預金	2,000,756
4	買掛金	3,200	仕入	3,200
5	保険料 立替金 資本金	130,000 10,000 5,000	普通預金	145,000

1. 期限の到来した社債の利札は現金として扱うが、問題文よりただちに当座預金としているので間違えないようにしよう。また受取利息ではなく有価証券利息であることに留意しよう。
2. 裏書譲渡された「受取手形」を割り引いているだけなので難しく考えないようにしよう。よく読めば、本問はオードソックスな手形の割引の問題である。
3. 同一会社内の銀行口座間の資金移動は実務でもよくあるが、落ち着いて考えればそれほど難しい取引ではない。本問は当座借越と振込手数料の論点とセットになっているので、ややこしく感じるが混乱しないで解いて欲しい。
4. 仕入返品・値引きの問題であるがどちらも同じ仕訳になることに留意しよう。
5. 店舗の火災保険料は費用になりますが、従業員や店主が負担すべき生命保険料は費用で計上は出来ません。従業員の場合は立替金で処理し、店主の場合は資本金を減らします。本問は資本金勘定で指定されていましたが、資本金の減少には引出金勘定を使う場合もあります。